

エレベータの停止

運用改善 メンテナンス チューニング 設備更新

○ 複数のエレベータがある場合、1基を停止すると節電になります。

試算例

エレベータを停止すると...

■ 節電効果 : **節電効果 6万円/年** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 2.8kW
節電電力量 約 3,200kWh

■ 対策内容 : 複数のうち1基を停止

■ 計算式 : 節電電力(kW) = 定格消費電力 × 負荷率
節電電力量(kWh) = 節電電力 × 稼働率 × 対象時間 × 対象日数

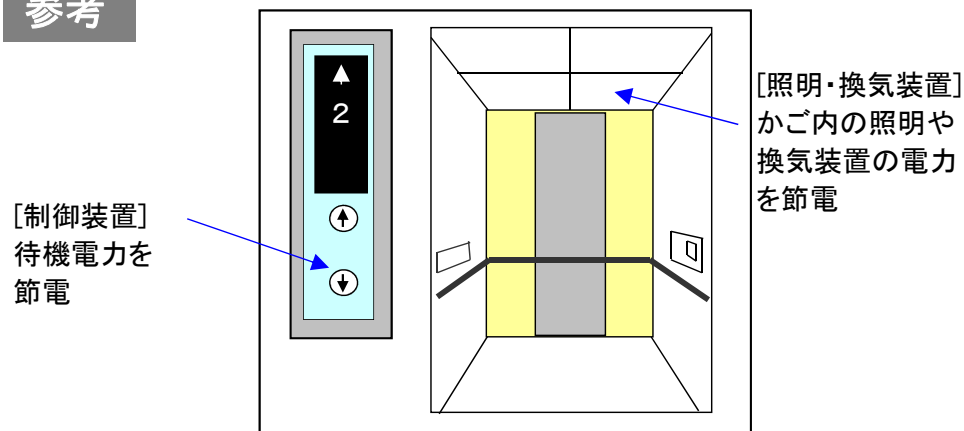
(試算条件)

建物仕様: 5階建ビル 階高5m
機種仕様: 定員9名 かご重量900kg
定格消費電力: 5.6kW(1基)
負荷率: 50% (定員の半分で仮定)※
稼働率: 50% (仮定)
対象時間: 9時間/日 (8:30~17:30) 連続運転
対象日数: 250日/年
※負荷率の設定は、個別に条件が異なりますので実情に合わせて設定して下さい。

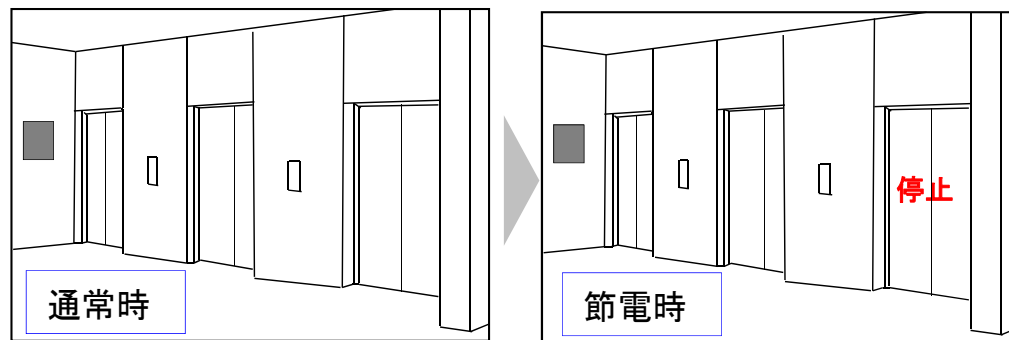
ポイント

- 停止できない場合でも、一部の階について階段運用とすれば運転時間が短くなり節電になります。
- 2UP3DOWN(上下階への移動時、昇りは2階、降りは3階まで階段を利用する)を心掛けることで、電力消費を抑制するだけでなく適度な運動も行うことができ、健康増進にも繋がります。

参考



エレベータ動力以外にも節電に寄与する諸装置



エレベータの1基停止 イメージ

注) 本内容はお客様の運用状況等によって異なる場合がございます